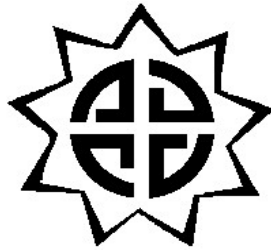


福島市統計書

平成 19 年版

福島市



市 章
(大正 13 年 6 月 4 日制定)

この章は「フ」の字を 9 字、「マ」の字を 4 字
組み合わせて図案化して「フクシマ」を表し、
福島市がますます四囲に発展しその内容に
おいて充実し、円滑に行われていることを
象徴しています。

福 島 市 民 憲 章

わたくしたちは、みどりにつつまれた信夫山と清い流れの阿武隈川をもつ
福島市民です。

福島市は、地味豊かなしのぶの里に古くから開けた人情の美しいまちです。
わたくしたちは、平和で、さらに住みよく希望にみちたまちをつくるため、
この市民憲章をさだめます。

- 1 空も水もきれいな みどりのまちをつくりましょう。
- 1 教育と文化を尊び 希望に輝くまちをつくりましょう。
- 1 親切で愛情あふれるまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、力をあわせて 楽しく働けるまちをつくりましょう。
- 1 子どもからおとしよりまで安全で健康なまちをつくりましょう。

(昭和 48 年 4 月 1 日制定)

は じ め に

平成 19 年版福島市統計書をここに刊行いたします。

この統計書は、福島市の自然、人口、産業・経済、教育・文化、福祉など幅広い分野にわたる基本的な統計資料を収録し、市勢の現況ならびにその推移を明らかにしようとするものです。

本書が、行政をはじめ企業経営、市民生活の向上のための指標として、多くのみなさまに広くご活用いただければ幸いです。

なお、編集方法等に不備な点もあろうかと思いますが、各方面からのご意見・ご指導をいただき、次回の刊行に向けてさらに内容の整備・充実を図ってまいりたいと存じます。

おわりに、本書刊行にあたり貴重な資料をご提供くださいました関係各機関に対し、心から感謝いたしますとともに、今後も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 20 年 3 月

福島市長 瀬 戸 孝 則

凡 例

- 1 この統計書は、福島市の市勢全般に関する統計資料を収録したものです。
- 2 統計書の内容は、基本的に「平成14年版福島市統計書」に引き続く資料を収録しましたが、部分的に削除したり新たに追加したものもあります。
- 3 資料は、官公署、民間団体及び庁内部課からの報告によるもの、又は当課において直接調査収集したものです。なお、資料の出所については、各統計表の下部に記載し、他の統計書又は報告書などによった場合は、その書名を掲げました。
- 4 数字の単位は、各表の上部左端又は表中に注記しましたが、一見して明らかなものは省略してあります。
- 5 資料の時点、時期については、原則として各表の上部右端に注記しましたが、本表中の年次、年度、年月日は次のとおりです。
 - 「年次」……暦年(1月から12月まで)
 - 「年度」……会計年度(4月から翌年3月まで)
 - 「年月日」……記載期日を現在とする
- 6 表中の符号の用法、単位の表記は次のとおりです。
 - 「0」・「0.0」……単位未満のもの
 - 「—」……該当数字のないもの
 - 「…」……資料なし及び不詳のもの
 - 「X」……秘密保護上、該当数字の公表をさし控えたもの
 - 「△」……マイナスのもの
 - 「m³」……立方メートル
 - 「ℓ」……リットル
- 7 構成比については、その1ケタ下位で四捨五入しているなどの理由で、内訳を足し上げても必ずしも計に一致しない場合もあります。
- 8 本書の内容についての疑義又は詳細は、各資料の出所機関又は本市企画政策課に照会してください。

総目次

福島市史年表	1
福島市略図	9
統計表	
1 土地・気象	10
2 人口	16
3 事業所	158
4 農林業	182
5 製造業	208
6 商業	218
7 市民所得	234
8 建設・住宅	242
9 電気・ガス・水道	260
10 運輸・通信	266
11 金融	274
12 物価・消費生活	278
13 教育・文化	316
14 社会福祉・労働	336
15 保健・衛生	350
16 司法・治安・災害	356
17 行政・財政	368

目 次

福島市史年表	1	延べ面積，1人当たり延べ面積及び総延べ面積（世帯が住んでいる階－特掲）	101
福島市略図	9	延べ面積（14区分），住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む一般世帯数及び一般世帯人員	101
（統計表）			
1 土地・気象	10	労働力状態（8区分），年齢（5歳階級），男女別15歳以上人口	103
1 福島市の位置と面積	11	産業（大分類），年齢（5歳階級），男女別15歳以上就業者数及び平均年齢	105
2 市域の変遷	11	地区，産業（大分類），男女別15歳以上就業者数	109
3 地区・支所別面積	12	町，産業（大分類），男女別15歳以上就業者数－中央地区の内訳	127
4 評価地積及び決定価格	11	11-23 常住地又は従業地・通学地による年齢（5歳階級），男女別人口及び15歳以上就業者数	139
5 気象の概況	13	11-24 常住地による従業・通学市区町村，男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数	141
6 気象の月別平年値及び極値	13	11-25 従業地・通学地による常住市区町村，男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数	145
2 人 口	16	11-26 従業地による産業（大分類），年齢（5歳階級），男女別15歳以上就業者数	149
7 人口及び世帯数の変遷	19	11-27 常住地又は従業地による産業（大分類）別15歳以上就業者数	151
8 地区別世帯数及び人口	21	11-28 住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別65歳以上親族のいる一般世帯数，一般世帯人員，65歳以上親族人員，1世帯当たり人員，1世帯当たり延べ面積，1人当たり延べ面積及び総延べ面積	151
9 人口動態	23	11-29 都市計画の地域区分（25区分），男女別人口並びに世帯の種類（2区分）別世帯数及び世帯人員	152
10 戸籍人口及び住民基本台帳人口	24	11-30 世帯の家族類型（16区分）別65歳以上親族のいる一般世帯数，一般世帯人員及び65歳以上親族人員	153
11 国勢調査	25	11-31 世帯人員（7区分），住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む65歳以上親族のいる一般世帯数	153
11-1 地区別世帯数及び人口	27	11-32 年齢（5歳階級），男女別高齢単身者数	153
11-2 町別世帯数及び人口－中央地区の内訳	29	11-33 夫の年齢（5歳階級），妻の年齢（5歳階級）別高齢夫婦世帯数	154
11-3 年齢（各歳），男女別人口	30	11-34 母子世帯数，父子世帯数，高齢単身世帯数及び高齢夫婦世帯数	154
11-4 年齢（5歳階級），地区，男女別人口	31	11-35 年齢3区分別人口の推移	155
11-5 年齢（5歳階級），町，男女別人口－中央地区の内訳	61	11-36 65歳以上人口の推移	155
11-6 配偶関係（4区分），年齢（5歳階級），男女別15歳以上人口	73	11-37 産業3部門別15歳以上就業者数の推移	155
11-7 世帯人員（10区分）別一般世帯数，一般世帯人員及び1世帯当たり人員	74	11-38 人口集中地区の人口，面積及び人口密度	155
11-8 施設等の世帯の種類（6区分），世帯人員（4区分）別施設等の世帯数及び世帯人員	74	11-39 人口集中地区境界図	156
11-9 世帯の家族類型（16区分）別一般世帯数，一般世帯人員，親族人員及び1世帯当たり親族人員（6歳未満・18歳未満・65歳以上親族のいる一般世帯，65歳以上親族のみの一般世帯－特掲）	73		
11-10 地区，世帯の種類（2区分），世帯人員（10区分）別世帯数及び世帯人員	75	3 事業所	158
11-11 町，世帯の種類（2区分），世帯人員（10区分）別世帯数及び世帯人員－中央地区の内訳	83	12 産業（大分類），経営組織（2区分），従業者規模（6区分）別全事業所数及び男女別従業者数	161
11-12 住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別一般世帯数，一般世帯人員，1世帯当たり人員，1世帯当たり延べ面積，1人当たり延べ面積及び総延べ面積	87	13 産業3部門別事業所数及び従業者数の推移	161
11-13 住宅の建て方（7区分），住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む一般世帯数及び一般世帯人員（世帯が住んでいる階－特掲）	88	14 産業（中分類），従業者規模（10区分）別民営事業所数及び男女別従業者数	163
11-14 世帯の家族類型（16区分），住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む一般世帯数及び一般世帯人員	87	15 地区，産業（大分類）別事業所数及び従業者数	171
11-15 地区，住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別一般世帯数，一般世帯人員及び総延べ面積	89	16 町，産業（大分類）別事業所数及び従業者数－中央地区の内訳	175
11-16 町，住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別一般世帯数，一般世帯人員及び総延べ面積－中央地区の内訳	97		
11-17 住宅の建て方（8区分）別住宅に住む主世帯数，主世帯人員，1世帯当たり人員，1世帯当たり			

4 農 林 業	182	31- 4 都市公園一覧	251
17 農林業センサス	185	32 木造家屋に関する調	254
17- 1 地区別専業・兼業別農家数及び 経営耕地面積規模別農家数	185	33 木造以外の家屋に関する調 1	255
17- 2 地区、就業状態、男女別農家人口(世帯員数)	187	34 木造以外の家屋に関する調 2 (平成19年度の内訳)	256
17- 3 地区別経営耕地面積	189	35 建築確認申請状況 1	257
17- 4 地区、農産物販売金額規模別農家数 一販売農家	193	36 建築確認申請状況 2	257
17- 5 地区、年齢、男女別農業就業人口 (自営農業に主として従事した世帯員数) 一販売農家	193	37 市営住宅数	257
17- 6 地区、農産物販売金額 1 位の部門別農家数 一販売農家	197	38 土地区画整理事業の施行状況	257
17- 7 地区別果樹栽培農家数及び果樹栽培面積 一販売農家	199	39 河川の状況(1級河川・準用河川)	259
17- 8 地区別家畜飼養農家数、頭羽数、 養蚕農家数及び掃立卵量一販売農家	201	9 電気・ガス・水道	260
17- 9 保有山林の状況 (3ha以上の林業経営体)	203	40 発電所別発電電力量	261
18 農業産出額及び生産農業所得	203	41 変電所の状況	262
19 地区、保有形態別森林面積	203	42 電灯使用量	261
20 農地転用	205	43 電力使用量	261
20- 1 農地法の規定による転用	205	44 ガス供給施設状況	262
20- 2 地区別農地法の規定による転用(平成18年度)	205	45 ガス供給戸数及び需給状況	261
5 製 造 業	208	46 上水道普及状況	263
21 産業分類別総括表(従業者4人以上の事業所)	211	47 配水量及び給水量	263
22 地区別総括表(従業者4人以上の事業所)	213	48 配水管口径別延長	263
23 産業分類、地区別事業所数、従業者数 及び製造品出荷額等(従業者4人以上の 事業所)	215	49 公共下水道整備状況	263
6 商 業	218	10 運輸・通信	266
24 卸売・小売業	221	50 駅別乗車人員数 (東日本旅客鉄道株式会社分)	267
24- 1 産業分類別総括表(卸売・小売業)	221	51 品目別貨物輸送状況 (日本貨物鉄道株式会社分)	267
24- 2 地区別総括表(卸売・小売業)	223	52 駅別乗車及び降車人員数 (阿武隈急行株式会社分)	267
24- 3 町別総括表(卸売・小売業)ー中央地区の内訳	225	53 私営電車乗客等の状況(飯坂線)	269
24- 4 地区、産業分類別事業所数(卸売・小売業)	227	54 私営バス乗客等の状況	269
24- 5 町、産業分類別事業所数(卸売・小売業) ー中央地区の内訳	229	55 東北縦貫自動車道	270
24- 6 地区、産業分類別事業所数、従業者数、 年間商品販売額、その他の収入額 (卸売・小売業)	231	55- 1 東北縦貫自動車道利用状況	270
24- 7 町、産業分類別事業所数、従業者数、 年間商品販売額、その他の収入額 (卸売・小売業)ー中央地区の内訳	232	55- 2 東北縦貫自動車道区間別交通量の推移	271
7 市民所得	234	56 用途、車種別自動車登録台数	271
25 市内総生産	237	57 原動機付自転車等台数	273
26 市民分配所得	239	58 郵便局状況	273
27 市民家計所得	239	59 運転免許保有者数	273
28 関連指標	239	60 旅券(パスポート)交付状況	273
8 建設・住宅	242	11 金 融	274
29 国・県道状況	243	61 福島市中小企業融資状況	275
30 市道状況	247	62 手形交換高及び不渡手形発生状況	275
31 都市計画	249	63 郵便貯金預払状況	276
31- 1 都市計画区域等	249	64 銀行店舗数及び預金・貸付金残高	276
31- 2 地区別市街化区域の用途別面積	249	65 信用保証状況	276
31- 3 都市公園数及び面積	249	66 業種別倒産件数及び負債額	276
		12 物価・消費生活	278
		67 消費者物価指数	281
		68 各種品目の小売価格	285
		69 1世帯当たり1ヶ月間の消費支出 (全世帯～農林漁家世帯を除く)	301
		70 1世帯当たり1ヶ月間の収入と支出 (勤労者世帯～農林漁家世帯を除く)	307
		71 中央卸売市場	315
		71- 1 青果物取扱状況	315
		71- 2 水産物取扱状況	315
		71- 3 花き部取扱状況	315

13 教育・文化	316
72 幼稚園	319
72- 1 設置者別園数, 組数, 園児数及び教職員数	319
72- 2 設置者別園数, 組数, 教員数及び園児数	319
73 小学校	319
73- 1 設置者別学校数, 学級数, 児童数及び教職員数	319
73- 2 設置者別学校数, 学級数, 教員数及び児童数	319
74 中学校	321
74- 1 設置者別学校数, 学級数, 生徒数及び教職員数	321
74- 2 設置者別学校数, 学級数, 教員数及び生徒数	321
74- 3 進路別卒業者数(中学校)	321
75 高等学校	321
75- 1 設置者別学校数, 入学状況, 生徒数及び教職員数	321
75- 2 進路別卒業者数(高等学校)	322
76 特別支援学校学校別学級数, 児童生徒数及び教職員数	323
77 専修・各種学校	323
77- 1 専修学校設置者, 修業課程別生徒数, 入学者数, 卒業者数及び教職員数	323
77- 2 各種学校設置者別生徒数, 入学者数, 卒業者数及び教職員数	323
78 市立図書館	323
78- 1 図書分類別蔵書冊数	323
78- 2 利用者別閲覧人員	323
78- 3 図書分類別利用冊数	325
79 県立図書館	325
79- 1 図書分類別蔵書冊数	325
79- 2 図書分類別館外個人貸出利用冊数	325
79- 3 館外個人貸出利用者数	325
79- 4 館外奉仕(団体貸出・資料譲与・移動図書館)利用状況	326
80 学習センター利用状況	327
81 市民会館等施設利用状況	327
82 労働福祉施設利用状況	328
83 その他の施設利用状況	327
84 学校体育施設利用状況	329
85 市指定文化財	330
86 国・県指定文化財(認定を含む)	330
87 街頭補導実施状況	330
88 体育施設利用件数及び利用者数	331
89 小・中学生の平均体位	332
90 観光入込客数	333
91 有料道路利用状況	333
92 福島競馬場入場人員及び発売金額等	333

14 社会福祉・労働	336
93 国民健康保険	337
93- 1 国民健康保険被保険者及び若人分医療費状況(診療費)	337
93- 2 国民健康保険税の賦課割合及び税率	337
94 国民年金	337
94- 1 国民年金被保険者数	337
94- 2 福祉年金給付状況	338
94- 3 基礎年金給付状況	337
94- 4 旧法年金給付状況	337
95 介護保険	339

95- 1 要介護(要支援)認定者の状況	339
95- 2 居宅介護(支援)サービス受給者の状況	339
95- 3 地域密着型(介護予防)サービス受給者の状況	339
95- 4 施設介護サービス受給者の状況	339
95- 5 保険給付の状況	339
96 市民交通災害共済加入状況及び給付件数	341
97 児童福祉	341
97- 1 児童問題の受付経路別処理件数	341
97- 2 児童問題の処理件数	341
97- 3 保育所在籍児童数及び職員数	341
97- 4 母子生活支援施設設置状況(福島敬香ハイム)	341
97- 5 肢体不自由児通園療育センター利用状況	342
97- 6 児童センター利用状況	343
97- 7 保育所別入所状況	343
98 老人福祉	345
98- 1 養護老人ホーム入所委託状況	345
98- 2 養護老人ホーム施設措置費支出状況	345
98- 3 地区別老人クラブ数	345
99 心身障害者福祉	346
99- 1 身体障害者手帳交付状況	346
99- 2 療育手帳交付状況	346
99- 3 知的障害者援護施設入所状況	346
99- 4 身体障害者福祉費支出状況	346
99- 5 身体障害者福祉施設入所者数	347
99- 6 知的障害者台帳登録状況	347
99- 7 知的障害者相談取扱状況	348
99- 8 精神障害者保健福祉手帳所持者数	348
99- 9 自立支援医療(精神通院公費)利用者数	348
100 被保護世帯, 人員及び生活保護費扶助別状況	347
101 生活保護の申請, 開始, 廃止及び生活相談状況	347
102 民生委員数等	348
103 シルバー人材センター業務取扱状況	347
104 職業紹介状況	349
105 産業分類別求人・充足状況	349

15 保健・衛生	350
106 医療関係施設数及び病床数	351
107 医療関係者数	352
108 主要死因別死亡者数	351
109 夜間急病診療所利用状況	351
110 休日救急歯科診療所利用状況	352
111 一般住民結核健康診断状況	351
112 予防接種状況	352
113 各種検診状況	351
114 ごみ収集状況	353
115 し尿処理状況	353
116 市営葬祭用具利用状況	354
117 河川水質測定結果	353
118 大気汚染測定結果	355

16 司法・治安・災害	356
119 福島地方裁判所処理状況	357
119- 1 刑事事件	357
119- 2 民事・行政事件	357
119- 3 民事調停事件	357
120 福島簡易裁判所処理状況	358
120- 1 刑事事件	358
120- 2 民事事件	358
120- 3 民事調停事件	358
121 福島家庭裁判所処理状況	359

121- 1	家事審判事件	359
121- 2	家事調停事件	360
121- 3	家事相談	359
121- 4	少年保護事件	359
122	交通事故発生件数及び死傷者数	361
123	ぐ犯・不良行為少年補導状況	361
124	時間別交通事故発生状況	363
125	刑法犯罪発生件数及び検挙数	363
126	消防施設等状況	363
127	消防職団員数	363
128	救急出動状況	364
129	火災発生件数, 焼損面積及び損害状況	365
130	時間別火災発生件数	365
131	原因別火災発生件数	365
17	行政・財政	368
132	歴代市長	369
133	歴代助役(平成19年4月1日より副市長)	369
134	歴代収入役	369
135	歴代市議会議長	370
136	歴代市議会副議長	370
137	市職員数	371
138	議会日数及び提出議案数	373
139	議案処理状況	373
140	常任委員会請願・陳情付託件数及び処理状況	373
141	市民相談受付件数	373
142	公害苦情件数	373
143	投票区別選挙人名簿登録者数	375
144	選挙別投票状況(平成14年度より)	375
145	一般会計予算額及び決算額	377
146	特別会計, 企業会計の予算額及び決算額	379
147	市税の税目別決算額	381
148	納税貯蓄組合数及び組員数	381
149	納税者1人当たり平均課税額	382
150	納税貯蓄組合の収納状況	383
151	納税義務者等に関する状況	383
152	市税減免状況	383

福 島 市 史 年 表

年号	西暦	おもなできごと
明治40年4月	1907	福島市市制施行（戸数5,251戸、人口31,835人、面積8.82km ² ）
6月		第1回福島市議会召集
7月		初代市長二宮哲三就任
41年4月	1908	軽便蒸気軌道が敷かれる（福島・長岡・飯坂間）
10月		奥羽六県連合共進会開催
44年	1911	松木町に市立図書館開館
6月		市内繁華街にガス灯が点灯
大正4年9月	1915	日本銀行福島出張所が福島支店に昇格
6年5月	1917	十綱橋（鉄橋）竣工
7月		松木町に市公会堂新設
7年6月	1918	福島商工会議所開設
8月		福島競馬場完成、第1回福島競馬開催
9年	1920	福島市に米騒動おこる
9月		市内各所に市営住宅建設開始
14年3月	1925	渡利に市営火葬場設置
5月		福島市上水道（弁天山浄水場）竣工
9月		松齢橋（鉄橋）竣工
15年4月	1926	2代市長小杉善助就任
昭和2年10月	1927	軽便が電車になる（福島・長岡・飯坂間）
4年3月	1929	本町に福島ビルヂング（福ビル）落成
6月		3代市長佐藤沢就任
5年12月	1930	市立図書館廃館
6年4月	1931	初の普通選挙法による市議会議員選挙
7年4月	1932	八木田橋（鉄筋支柱）竣工
12月		市制施行25周年。記念事業として敬老会を始める
12年7月	1937	松川橋竣工
9月		信夫橋竣工
13年6月	1938	信夫郡野田村の一部を編入
14年4月	1939	文知摺橋竣工
16年2月	1941	市内バス運転開始
18年11月	1943	福島市警防団発足
20年4月	1945	NHK福島放送局が開局
7月		市役所火災
9月		4代市長釘本衛雄就任
21年1月	1946	渡利村に爆弾投下、少年1人死亡
22年2月	1947	福島市に米軍進駐
3月		信夫山曉参り大わらじ奉納復活
4月		信夫郡渡利村、杉妻村を合併
24年8月	1949	信夫郡清水村、岡山村、鎌田村、瀬上町を合併、吉井田村の一部を編入
25年4月	1950	福島市長選挙、改正普選法（婦人参政）により施行
6月		5代市長佐藤元治就任
26年4月	1951	松川事件おこる
27年4月	1952	福島夏祭り（七夕祭、花火大会）開始
		「市政たより」第1号発行
		福島消防本部、消防署発足
		福島さくら祭り始まる
		市役所新庁舎落成

年号	西暦	おもなできごと
昭和27年10月	1952	第7回国民体育大会が福島で開催
28年8月	1953	民間放送・ラジオ福島が開局
29年3月	1954	信夫郡余目村を合併
30年3月	1955	信夫郡笹谷村、大笹生村、吉井田村、荒井村、土湯村を合併、伊達郡霊山町の一部（大波）を編入
5月		6代市長林谷主計就任
7月		伊達郡立子山村を合併
31年9月	1956	信夫郡佐倉村を合併 児童公園開設
10月		第1回市民体育祭開催
32年4月	1957	市制施行50周年記念式典挙行
7月		信夫郡吾妻村の一部（野田）を編入
33年2月	1958	市制施行50周年記念事業「敬老年金制度」を創設
34年2月	1959	公会堂、中央公民館竣工
5月		7代市長佐藤実就任
11月		磐梯吾妻スカイライン開通
35年4月	1960	東北本線上野・福島間電化
37年2月	1962	堀河町にし尿処理場竣工
12月		福島ステーションビル落成
38年4月	1963	民間放送テレビ・福島テレビが開局
39年1月	1964	信夫郡飯坂町を合併
9月		市庁舎増築落成 天神橋竣工
40年8月	1965	吉井田じん荼焼却場設置
41年1月	1966	北町バイパス開通
5月		新栗子トンネル開通
6月		信夫郡松川町、信夫村を合併
9月		新十綱橋開通
42年5月	1967	市民センター竣工
8月		森合町に肢体不自由児通園訓練センター設置
9月		「第1回市民美術展」を開催
43年4月	1968	北福島地区農免道路開通
10月		信夫郡吾妻町を合併（福島市22万都市となる）
45年3月	1970	仁井田に恵風園落成
4月		新浜公園開園 国道13号信夫山トンネル開通 福島中央テレビ福島支局開設
8月		わらじ祭り始まる
46年3月	1971	福島駅前（栄町）地区基本計画策定 森合に庭球場完成
4月		路面電車廃止
5月		8代市長佐藤達也就任
11月		下水道終末処理場処理開始
12月	1971	市民福祉会館（現在の市民会館）落成
47年6月	1972	新町に少年センター落成
10月		北矢野目に福島市中央卸売市場開場
12月		児童文化センター落成（旧児童館跡）

年号	西暦	おもなできごと
昭和48年 1月	1973	鎌田大橋竣工
3月		阿武隈川サイクリングロード完成
4月		市民憲章制定 中央幹線あづま陸橋開通
5月		肢体不自由児通園療育センター落成
9月		駅前再開発第1弾辰巳屋ビル完成
11月		駅前再開発第2弾平和ビル完成 大仏橋竣工
49年 7月	1974	森合市民プール竣工
9月		ねたきり老人巡回入浴車「さわやか号」スタート
10月		福島卸商団地完成 大町地下歩道開通
50年 3月	1975	東北縦貫自動車道開通
4月		国道13号信夫山トンネル複線開通
7月		夜間急病診療所開設
10月		蓬萊支所・蓬萊公民館落成
51年 8月	1976	信夫山羽黒神社焼失
11月		あづま陸橋下に自転車専用駐車場オープン
12月		摺上川ダム予備調査開始
52年 3月	1977	駅前地下歩道開通
7月		移動図書館車「しのぶ号」スタート あらかわ清掃工場落成
10月		吾妻連峰一切経山の火山活動活発化
53年 2月	1978	日銀前レンガ通り開通
5月		老人福祉センター落成
6月		宮城県沖地震発生（福島市震度5） 第1回市民マラソン大会開催
8月		移動生活車「ひまわり号」スタート 53福島インターハイ開催
54年 4月	1979	分庁舎開庁 名誉市民に古関裕而氏を推戴 福島大学教育学部が松川町に移転（昭和56年5月経済学部も松川町へ）
5月		9代市長河原田穰就任 粗大ゴミ破碎施設落成
7月		資料展示室開室
8月		三本木橋竣工 武道館落成
12月		文知摺橋開通
55年 7月	1980	福島市斎場落成
8月		8月真夏日ゼロで75年ぶりの大冷夏
9月		吾妻小富士開拓計画完工
12月		大雪で果樹など被害額13億円を越す
56年 4月	1981	大萱荘（知的障害者更正施設）落成
5月		福島駅東西連絡自由通路開通 上蓬萊橋竣工
6月		異常低温続き庭坂、庭塚地区に降ヒョウ、果樹被害1億2千万円
8月		台風15号本市を直撃、農作物被害16億8千万円、公共施設損壊2億1千万円

年号	西暦	おもなできごと
昭和56年10月	1981	福島放送福島支局開設
57年4月	1982	福島市身体障害者福祉センター「腰の浜会館」落成
6月		家族旅行村「吾妻高原スカイランド」オープン
8月		大宮駅暫定始発で「東北新幹線」開業 福島市民家園オープン 祓川ジョギングコース完成 粗大ゴミ収集スタート
58年7月	1983	英語指導主事助手制度が発足
11月		福島市小鳥の森開園 サンライフ福島落成 福島南バイパス全線開通
12月		民間放送テレビ・テレビユー福島が開局
59年3月	1984	福島工業団地で誘致企業第1号が操業開始
4月		福島市振興公社発足。福島ホールの一部（働く婦人の家、勤労青少年ホーム）オープン 特別養護老人ホーム「陽光園」落成 西支所・公民館が合築オープン
7月		福島市音楽堂オープン 県立美術館・図書館落成
9月		昭和天皇・皇太后両陛下ご来福 昭和天皇陛下「小鳥の森」をご視察
10月		東部支所オープン
60年3月	1985	本市が「テレトピア構想モデル都市」として指定を受ける
4月		東北新幹線、上野駅と直結 福島市立図書館オープン
11月		テレトピア構想推進法人(株)インフォメーション・ネットワーク福島（略称I N F）設立
12月		10代市長吉田修一就任
61年4月	1986	I N F がキャブテンシステムによりサービス開始
8月		台風10号くずれの集中豪雨により市内各所に被害 住家全壊3棟、床上浸水家屋1,171棟、公共施設など被害額25億円を越す
62年3月	1987	福島市の鳥「シジュウカラ」制定
6月		福島市中央市民プール竣工
7月		市制施行80周年記念式典挙行
9月		八木田橋竣工
10月		住民情報オンラインシステムがスタート 一般国道13号福島西道路（西部環状道路）起工
63年1月	1988	福島市葬儀事務所落成
2月		あぶくまクリーンセンター落成
3月		国道115号方木田バイパス開通
4月		あづま橋開通
5月		下野寺水源ポンプ所開所
6月		新駅ビル“福島ルミネ”オープン
7月		阿武隈急行線全線開業
9月		北福島幹線開通
10月		市民ギャラリーオープン
11月		古関裕而記念館オープン
平成元年3月	1989	コミュニティ道路（パセオ470）が全面完成 市の木・ケヤキ、市の花・モモに一本化

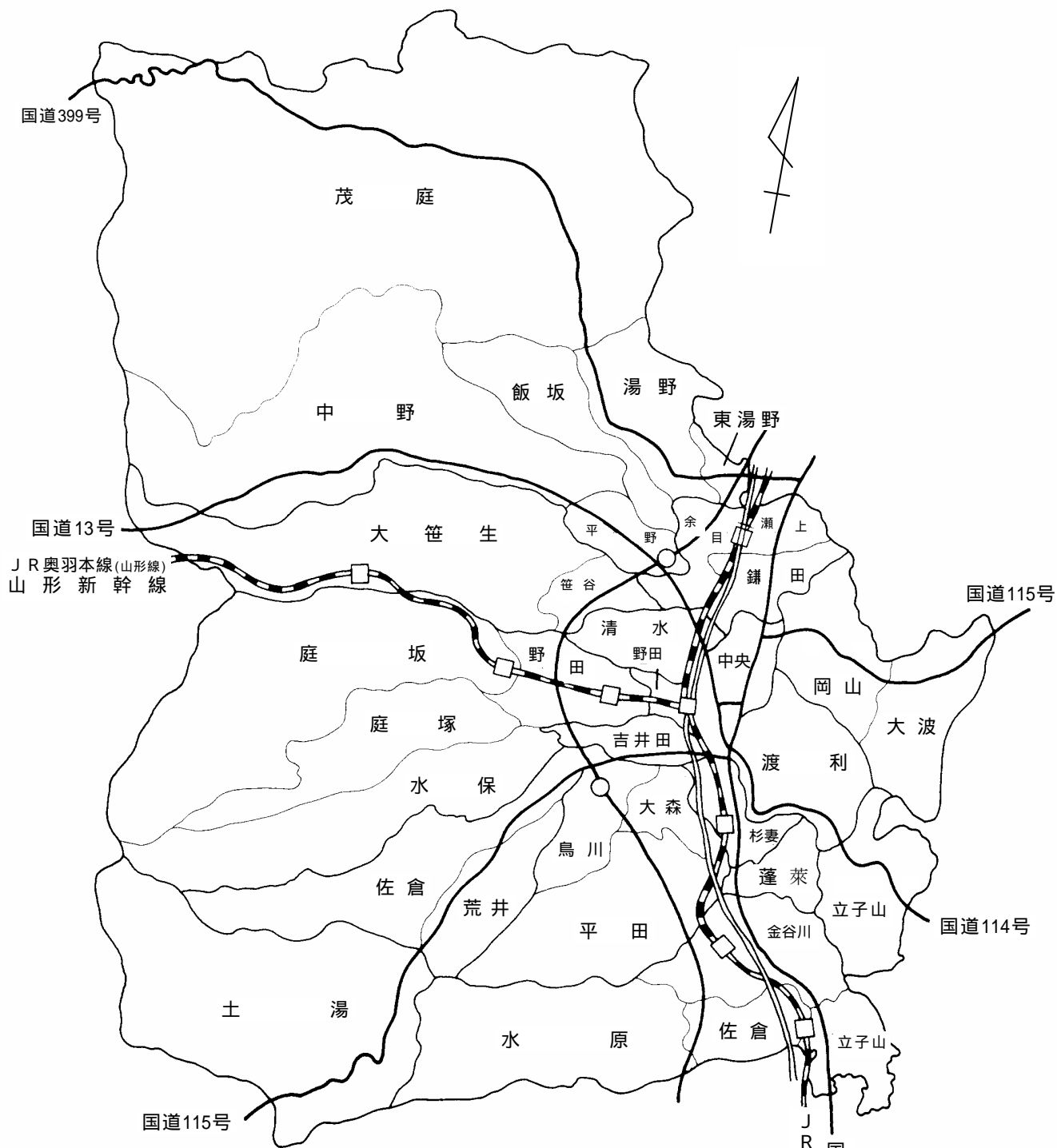
年号	西暦	おもなできごと
平成元年 4月	1989	野田児童センター開所 森合市民プールに開閉式屋根を設置
5月		クレー射撃場オープン
7月		信夫ヶ丘球場の改修完了 福島勤労者体育センターオープン
9月		社会教育館「こぶし荘」の改築完了
11月		国道115号土湯トンネル開通
2年 3月	1990	新摺上橋が開通 信夫支所・公民館が合築オープン
4月		J R福島駅西口駅前広場が完成
5月		J R福島駅東口に立体自転車駐車場がオープン
7月		福島市南体育館が完成
10月		第50回国体の平成7年本県開催が正式内定 自転車放置禁止区域内の自転車撤去開始
3年 1月	1991	福島市欧州視察団がヨーロッパ3ヶ国を訪問
3月		茂庭出張所・多目的集会所が落成 老朽化のため改築していた蓬萊橋が完成
4月		交通混雑解消のための飯坂バイパス（国道399号）が開通
5月		福島消防署信夫分署が完成
8月		ヘルシーランド福島が落成
10月		森合市民プールの新管理棟が完成
11月		浄土平ビジターセンターが落成
12月		養護老人ホーム「福島恵風園」移転改築落成
4年 2月	1992	第1回古閑裕而記念音楽祭を開催
3月		J R福島駅東口駅前広場が完成
4月		茂庭診療所が落成 国道13号信夫山新歩道トンネルが開通
6月		飯坂温泉観光会館（パルセイイざか）が落成
7月		知的障害者更正施設「清心荘」が落成
8月		老人介護支援施設「福島市陽光園介護支援センター」が落成
10月		本市人口28万人を突破
5年 4月	1993	第50回国民体育大会福島県開催正式決定
5月		民家園に元「客自軒」が復元落成
9月		福島市総合福祉センターオープン
10月		北信支所・公民館が合築オープン
6年 2月	1994	立子山自然の家がオープン
4月		福島市を含む県北17市町村が「地方拠点都市法」の第二次指定地域に指定
		県営あづま総合体育館落成
		十六沼公園竣工
		福島市長寿社会憲章制定
		浄土平天文台落成
		蓬萊学習センター落成
		西部環状道路の西大橋（2車線）開通
		冷夏により戦後最大規模の農作物被害52億7千万円
		市内8農協が合併し新ふくしま農業協同組合が発足
		(財)福島勤労者総合福祉振興協会設立
		リフト付き福祉バス「つばさ号」運行開始

年号	西暦	おもなできごと
平成6年5月	1994	東部勤労者研修センター落成 国体記念体育館落成
6月		ごみ袋透明化を開始 県営あづま陸上競技場落成 あづま公園橋竣工
7月		福島市スポーツ振興公社発足 信陵支所・公民館が合築オープン 児童センターと介護支援センター、デイサービスセンターとを合わせた施設「渡利ふれあいセンター」落成
10月		民家園に「広瀬座」完成 初の阿武隈川サミットを福島市で開催 福島駅前B-II北地区再開発ビル「ユニックス」竣工
11月		福島地方広域行政組合設立 金沢第2埋立処分場が竣工
7年3月	1995	摺上川ダム本体工事が着工 国道115号荒井バイパス開通
4月		市政情報案内システム「テレホンガイド・ハローハロー」がサービス開始 (株)福島研究公園交流センター設立
5月		東部学校給食センターオープン
6月		福島テルサ（福島勤労者総合福祉センター）オープン
7月		渡利支所が改築オープン 吉井田支所・公民館が合築オープン 月の輪大橋開通 農村マニュファクチャー公園「四季の里」オープン
8月		西部広域農道が全線開通
9月		第50回国民体育大会「ふくしま国体」夏季大会（水球）を開催 土湯温泉町支所改築オープン 上八木田橋開通
10月		民間放送FMふくしま開局 福島西部道路の一部開通 駐車場案内システムサービス開始 第50回国民体育大会「ふくしま国体」秋季大会総合開・閉会式をはじめ4球技（陸上競技、バレーボール、ソフトボール、センターファイア・ピストル）を開催 第31回全国身体障害者スポーツ大会「うつくしまふくしま大会」開催
12月		土湯温泉町浄化センターオープン
8年3月	1996	阿武隈川上流域県北処理区の県北浄化センター（国見町）が完成 国道114号バイパスの渡利大橋全面開通（4車線） 福島市高齢者いきがいセンター落成
8月		福島市資料展示室が移転し、再開館 福島コミュニティ放送エフエム・ポコ開局
10月		図書館オンラインシステムが稼動
9年4月	1997	体育施設オンライン「スポーツふくしまネット」が稼動 福島市中小企業勤労者福祉サービスセンター設立 清水学習センター落成
6月		資源物の分別収集を開始 クレー射撃場（スキート射場）落成
7月		市制施行90周年記念式典挙行

年号	西暦	おもなできごと
平成9年8月	1997	杉妻支所が改築オープン
10月		インターネット上に福島市ホームページ開設
10年3月	1998	福島西道路開通
4月		ふくしまスカイパーク開場
5月		西部勤労者研修センター落成
8月		集中豪雨により市内各所に被害。家屋半壊5棟、床上浸水5棟、床下浸水97棟。 公共施設など被害総額7億円
9月		台風5号による豪雨で荒川の右岸が破堤。床上浸水7棟・床下浸水23棟。被害総額1億円。 台風7号による風害で農作物被害6億8千万円 市中心市街地活性化基本計画策定
10月		保健福祉センターオープン
11年4月	1999	吾妻支所・吾妻学習センターオープン
		リサイクルプラザオープン
7月		ノーマイカーデー開始
9月		レンタサイクルスタート
12月		もにわの湯落成
12年3月	2000	阿武隈急行線「福島学院前」駅落成、開業
4月		総合防災情報システム稼働
6月		福島市総合計画ふくしまヒューマンプラン21基本構想策定
9月		「平成の大改修」荒川地区竣工
13年4月	2001	平和通り地下駐車場供用開始
		立子山支所オープン
8月		「うつくしま未来博」福島市展示
12月		11代市長瀬戸孝則就任
14年4月	2002	市道湯野平野線供用開始
7月		台風6号・7号による大雨で市内各所に被害。床上浸水46棟・床下浸水126棟。 公共施設など被害額約11億円 摺上川ダム堤体盛立完了
8月		住民基本台帳ネットワークシステムの第1次稼働スタート 板倉家福島藩主300年記念事業開催（～平成15年）
10月		第15回全国健康福祉祭ふくしま大会（ねんりんピック）ソフトバレーボールと俳句の 交流大会を開催
11月		板倉家福島藩主300年記念 福島城下大名行列
12月		福島市協働のまちづくり推進指針策定
15年4月	2003	中央卸売市場花き棟落成
		花の写真館オープン
		高湯温泉「あったか湯」落成
		わいわい夢果樹園オープン
5月		クレ射撃場落成
6月		すりかみ浄水場落成
		温泉利用デイサービス事業開始
7月		西口行政サービスコーナーオープン
		福島駅西口複合施設「コラッセふくしま」落成
		男女共同参画センター「ウィズ・もとまち」、東口行政サービスコーナーオープン
		冷害による農作物被害39億7千万円
8月		宮畑遺跡の国史跡指定
10月		吾妻山火山防災訓練実施

年号	西暦	おもなできごと
平成15年10月	2003	障がい者コミュニティーサロン「まちなか夢工房」オープン
16年1月	2004	国道114号渡利バイパス開通式
2月		摺上川ダム湛水開始
3月		市議会本会議一問一答式導入
4月		借上市営住宅第1号となる曾根田町団地入居開始
6月		福島市ポイ捨てのない美しいまちづくり条例施行
9月		ラヴィバレー番丁オープン
10月		チェンバおおまちオープン
		福島市・川俣町・飯野町合併協議会設置
11月		福島市消費生活センターオープン
		福島市協働のまちづくり市民電子会議室「e-ネットふくしま」開始
17年2月	2005	飯坂支所・学習センターオープン
3月		市民活動サポートセンターオープン
		飯坂町地域再生計画認定書与式（首相官邸）
4月		福島市安全で安心なまちづくり条例施行
7月		子どもの夢を育む施設「こむこむ」オープン
		旧堀切邸庭園の一般公開開始
8月		宮城県沖地震（福島市震度5弱）
9月		摺上川ダム竣工式
12月		一般国道115号土湯バイパス全線開通
18年1月	2006	「平成18年豪雪」で市内でも大雪
2月		十六沼公園にサッカー場オープン
		もちぎり学習センター、東部支所改築オープン
		福島市総合計画ふくしまヒューマンプラン21・後期基本計画（平成18年～22年度）策定
4月		市の施設の管理運営に「指定管理者制度」を導入
		福島市・荒川区との「災害時における相互応援に関する協定」調印式
7月		福島市民の消費生活を守る条例施行
9月		茂庭ふるさと館オープン
10月		福島松川スマートIC正式運用
12月		福島市・川俣町・飯野町合併協議会で川俣町の離脱を確認
19年1月	2007	第1回福島市・飯野町合併協議会開催
3月		渡利浄水場廃止
		福島西道路四車線化完成式
4月		市制施行100周年記念事業 オープニングイベント
		摺上川ダム水本格受水記念式典
5月		広瀬・梨平公園完成
6月		福島市・飯野町合併協定調印式
7月		市制施行100周年記念式典挙行

福島市略図



_____ 地区
 _____ 市境

I.C. _____ 東北自動車道
 駅 _____ JR東北新幹線
 駅 _____ JR線